

2024年度コンタクトセンター売上高ランキング

単位：百万円、増減率：％（▲はマイナス）、※：本紙推定

順位	社名	前期実績		決算月
		売上高	増減率	
1	トランスコスモス	375,849	3.8	3月
2	アルティウスリンク	227,000	—	3月
3	ベルシステム24ホールディングス	143,607	▲3.4	2月
4	プレステージ・インターナショナル	63,719	8.5	3月
5	TMJ	54,000	▲3.4	3月
6	NTTマーケティングアクトProCX	38,065	▲25.0	3月
7	ビーウィズ	36,400	▲4.8	5月
8	SCSKサービスウェア	35,519	▲6.2	3月
9	NTTネクシア	34,400	▲11.6	3月
10	MS&ADグランアシスタンス	※34,000	—	3月
11	ギグワークス	25,369	▲4.0	10月
12	◎日立システムズ	24,830	▲14.0	3月
13	NECフィールディング	※24,000	—	3月
14	◎パーソルコミュニケーションサービス	23,641	▲1.0	3月
15	◎キューアンドエー	18,419	▲5.4	3月
16	カスタマーリレーションテレマーケティング	18,056	▲22.1	12月
17	富士ソフトサービスビューロ	13,388	9.8	12月
18	かんでんCSフォーラム	12,575	1.3	3月
19	日本トータルテレマーケティング	※12,000	—	3月
20	東京ガスカスタマーサポート	※11,000	—	3月
21	WOWOWコミュニケーションズ	9,921	5.0	3月
22	JPTソーウェイコンタクト	8,986	▲0.8	3月
23	NEC VALWAY	8,951	7.1	3月
24	アイティ・コミュニケーションズ	※6,060	—	7月
25	◎アップセルテクノロジーズ	6,000	6.0	9月
26	スカパー・カスタマーリレーションズ	5,414	▲4.4	3月
27	テレコメディア	4,026	▲14.5	2月
28	◎ベルウェール渋谷	3,740	0.5	6月
29	アイビーシステム	3,600	5.9	3月
30	◎バーチャレクス・コンサルティング	2,749	5.7	3月
31	テレネット	※2,500	—	3月
32	TACT	2,160	0.9	8月
33	アイ・エヌ・ジー・ドットコム	1,500	—	3月
34	CENTRIC	※1,400	—	12月

※コンタクトセンター事業を手がけている企業（通販企業のハウスエージェンシーは除く）の2024年度（24年7月期～25年6月期）の売上高を集計

表中、企業名横の「◎」は次の理由による。(12)日立システムズはコンタクトセンター事業部の売上高(14)パーソルコミュニケーションサービスは2025年2月に富士通コミュニケーションサービスから商号を変更(15)キューアンドエーは連結子会社のディー・キュービック、ランゲージワンを含めたグループ売上高(25)アップセルテクノロジーズグループは、スリーコル（6ヶ月変則決算）、ダーウィنز、台湾達唯諾股份有限公司を含むグループ各社の直近決算期の売上高を集計(28)ベルウェール渋谷は単体の売上高(30)バーチャレクス・コンサルティングはアウトソーシング事業の売上高

も影響しそうだ

コンタクトセンター売上高ランキングに関しては、BPOについては成熟期を迎えて、注目企業の状況を見ていく。前年度に引き続き、トランスコスモスが首位を獲得。アウソーシングサービス事業なリンク。現在の市場に

2位はアルティウスが進み中、コールドの3位はベルシステム

7位のビーウィズは、特定の公共案件の業務

を拡大すること

コンタクトセンター売上高

通販新聞社は、このほど、コンタクトセンター事業を手がける主な企業の2024年度売上高を調査した。上位34社の合計売上高は1兆2928億4400万円、23年度比で3・0％増加した。全体では伸びた一方、減収企業は34社の内、半数近い14社。当期は新型コロナウイルス関連の公共系業務がほぼ終了したことに伴い、前年割れとなった企業が散見。また、テレマーケティングからウェブ移行を進めるクライアント企業の動きや、大型案件の縮小などもあった。

減少を予測。また、予想以上に早いペースで生成AIの事業化が進んでおり、生成AIを活用した新たな顧客接点の設計が進んでいるとされている。そうした中、同社ではAIやデジタル技術を活用した「Altius ONE」を中心に、デジタルBPOサービスの展開。加えて、業界

5位のTMJは、新規拡大を進めるも、大規模クライアントの業務縮小を受けて減収減益だった。今後は売価交渉に加え、契約形態

を拡大すること

24年度は半数近くが減収に

売上高合計は3%増

24ホールディングス。基礎業務は増収となったものの、コロナ関連業務がほぼ終了したこと

を拡大すること

していくことが求めら

を拡大すること

通販新聞

発行所
株式会社 通販新聞社
東京都文京区本郷2-11-6
〒113-0033（谷口ビル4F）
電話 03-3815-7655（大代表）
03-3815-1903（代表）
FAX 03-3815-7196
URL: http://www.kbns.co.jp
毎週1回（木曜日）発行
購読料 年間31,680円（税込）
振替口座番号 00140-2-705705



今週の主な記事

ストリームの市村智樹社長に聞く
消費者庁、ジャパネットたかたに措置命令
楽天の「ふるさと納税祭」、来場多数に
ワタミ、4500円の冷蔵惣菜を発売

売れるしくみを創る。
買う楽しみを届ける。



売り上げUPに貢献
すべてを網羅したオールインパッケージで
通販力を伸ばしたい貴社の声に応えます。

企業と顧客を 人とICTのチカラでつなぐ

パーソルコミュニケーションサービスは、
激しく変化する時代の中で、お客様の多様なニーズにより柔軟に、
そして先取りした答えをもってお応えすることで
お客様のビジネスに貢献し、成功へと導くことを目指しております。
すべてはおお客様の「真のパートナー」になるために。



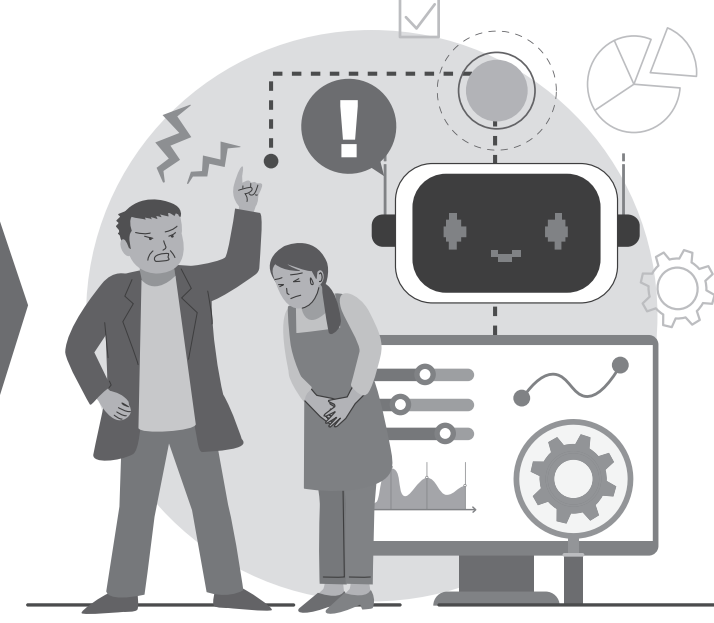
パーソル コミュニケーションサービス
PERSONAL

カスハラ対策に

生成AIという選択肢を

企業と顧客接点のCXを最適化

trans-DX
for Support



お問い合わせ
電話・メール・チャット

www.trans-cosmos.co.jp
0120-120-364
(平日 9:00~18:00)



